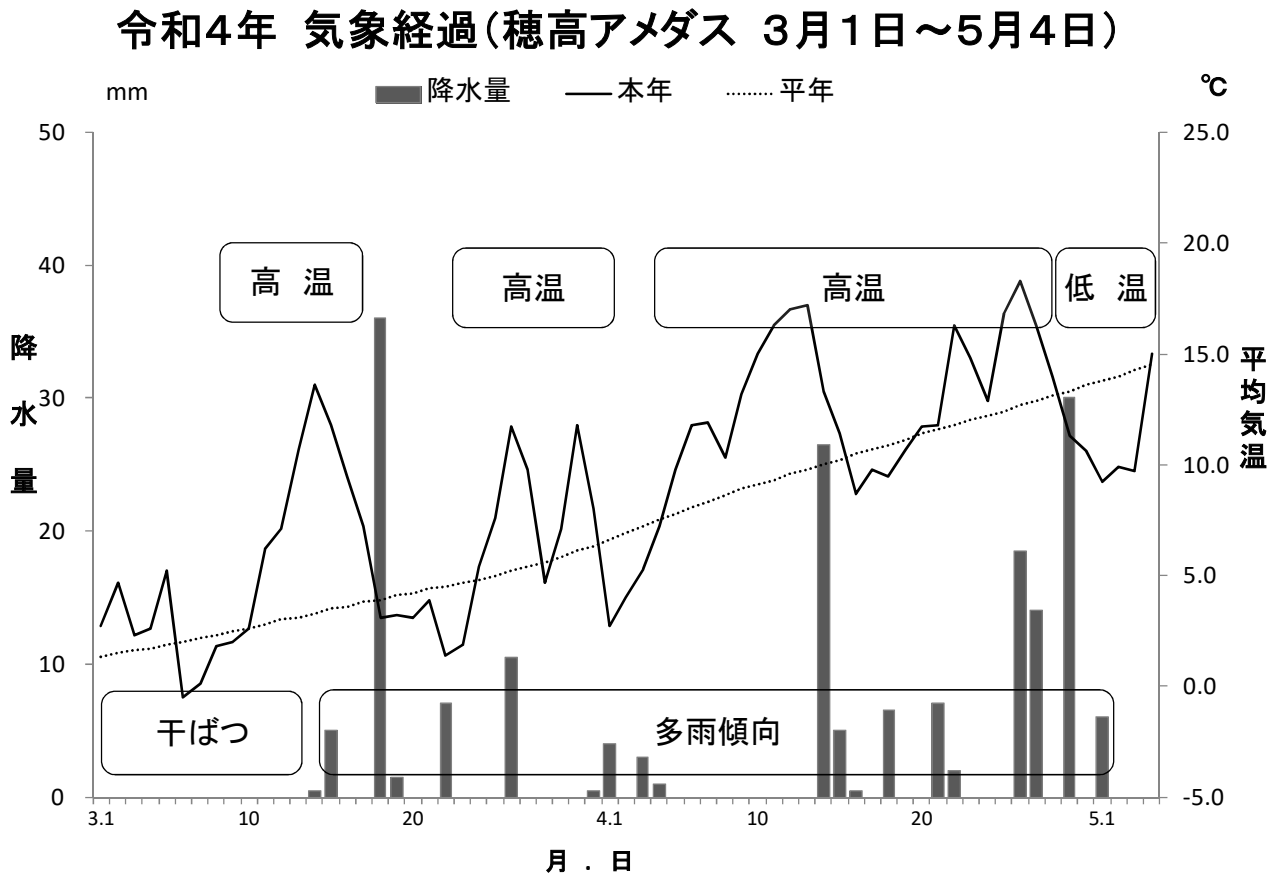


# 令和4年 作物技術普及情報 第6号

## (麦の生育状況・成熟期予測について)

### 1 気象状況



4月は高温で降雨が多い状況でした。5月連休前半は低温となりましたが、今後は平年並～やや高い気温が予想されています。

## 2 麦の生育状況

- 5月6日現在、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは、以下の通りです。4月の高温の影響で、生育は平年より4～5日程度進んでいると思われます。

【大 麦】 穂揃い～登熟初期（管内の出穂期は4月20日～4月27日頃。ピークは4月24日頃）  
【小 麦】 出穂始～出穂期（管内の出穂期は5月1～10日頃でピークは5月6日頃を予想しています）

出穂ムラの大きい圃場が目立ち、4月末の大雨で部分的に倒伏している圃場もあります。

- 5～6月の気温は平年並みから高いと予想されており、大麦の成熟期は平年よりやや早く、6月初旬より成熟・収穫を迎えると予想されます。

積算気温による成熟期の推定を開始しますので、ご活用いただき、コンバインや乾燥施設の稼働準備を早めに進めるようお願いいたします。

- 成熟期は麦の生育状況や今後の気象状況で前後します。根の生育の劣る圃場や極端にやせた圃場では、予想より成熟が早まる可能性があります。

また登熟期間中に気温が高く、降雨の少ない状況が続くと、予想より成熟が早まる可能性があります（例 平成27年）。

- 出穂ムラの大きい圃場では、成熟ムラも大きくなります（例 令和3年）。今年も収穫開始時期の判断が重要なポイントになると思います。

このため、今後の生育状況にご注意いただき、収穫の目合わせの回数を増やすなど適期収穫に向けた取り組みをお願いします。

## 【参考】登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(5月5日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650~700℃、小麦は850~900℃として推定しています。

平均気温は穂高アメダス値です。5月4日までは本年値、以降は平年値を用いています。

月日	平均気温	大 麦				小 麦					
4月20日	<b>11.7</b>	4月20日出穂圃場									
4月21日	<b>11.8</b>		12								
4月22日	<b>16.3</b>		28								
4月23日	<b>14.8</b>		43								
4月24日	<b>12.9</b>		56								
4月25日	<b>16.8</b>		73	4月25日出穂圃場							
4月26日	<b>18.3</b>		91		18						
4月27日	<b>16.3</b>		107		35						
4月28日	<b>14.0</b>		121		49						
4月29日	<b>11.3</b>		133		60						
4月30日	<b>10.6</b>		143		71	4月30日出穂圃場					
5月1日	<b>9.2</b>		152		80		9	5月1日出穂圃場			
5月2日	<b>9.9</b>		162		90		19		10		
5月3日	<b>9.7</b>		172		99		29		20		
5月4日	<b>15.0</b>		187		114		44		35		
5月5日	14.6		202		129		58	49	5月5日出穂圃場		
5月6日	14.8		216		144		73	64		15	
5月7日	14.9		231		159		88	79		30	
5月8日	15.0		246		174		103	94		45	
5月9日	15.3		262		189		118	109		60	
5月10日	15.2		277		204		134	124	75	5月10日出穂圃場	
5月11日	15.3		292		219		149	140	91		15
5月12日	15.3		307		235		164	155	106		31
6月1日	17.9		637		564		494	485	436		360
6月2日	18.0	成	655		582		512	503	454		378
6月3日	18.2	成	673		601		530	521	472		397
6月4日	18.3	成	692		619		548	539	490		415
6月5日	18.5		710		637		567	558	509		433
6月6日	18.6		729	成	656		586	576	527		452
6月7日	18.8		747	成	675		604	595	546		471
6月8日	18.9		766	成	694		623	614	565		490
6月9日	19.0		785		713		642	633	584		509
6月10日	19.1		804		732	成	661	652	603		528
6月11日	19.2		824		751	成	681	671	622		547
6月12日	19.4		843		770	成	700	691	642		566
6月13日	19.5		863		790		719	710	661		586
6月14日	19.6		882		810		739	730	681		605
6月15日	19.7							750	700		625
6月16日	19.8							769	720		645
6月17日	19.9							789	740		665
6月18日	20.0							809	760		685
6月19日	20.1							829	780		705
6月20日	20.2							成 850	800		725
6月21日	20.3							成 870	821		745
6月22日	20.4							成 890	841		766
6月23日	20.5							成 911	成 862		786
6月24日	20.6							931	成 882		807
6月25日	20.8							952	成 903		828
6月26日	20.9							973	924	成	849
6月27日	21.0							994	945	成	870
6月28日	21.1							1015	966	成	891
6月29日	21.3							1036	987	成	912
6月30日	21.4							1058	1009		933

### 3 麦の病害について

#### (1) 麦の赤かび病について

- 出穂期から2週間位の間、降雨期間中の温度が高く、降雨期間中の気温が高いほど感染しやすくなります。

また、比較的低温でも降雨時間（穂の濡れ時間）が長いと感染リスクが高まるので注意が必要です。

- 5月5日現在、大麦は感染リスクの高い日がありました。小麦はこれから注意の必要な時期を迎えるので、今後の気象状況にご注意ください。

対応については別添の「コムギ赤かび病の防除を徹底しましょう」をご参考下さい。

#### 5月5日現在 赤かび病感染リスクの判定

(平22技術情報より作成)

月日	連続 降水時間	降水期間 中の平均 気温	感染 リスク	生育ステージ	
				大麦	小麦
4月20日				出穂 ～ 穂揃期	
4月21日	7	10.9	なし		
4月22日					
4月23日					
4月24日					
4月25日					
4月26日	17	18.6	注意		
4月27日				開花期	
4月28日					
4月29日	8	10.3	なし		
4月30日					
5月1日	7	9.8	なし		
5月2日					
5月3日					
5月4日					
5月5日					
5月6日					
5月7日					
5月8日					
5月9日					
5月10日					

## (2) うどんこ病について

発生が少ない状況でしたが、ゆめきらり等のうどんこ病に弱い品種で発生が始まっています。

今後発生が拡大する恐れもありますのでご注意ください、多発した場合は「令和4年度農作物病害虫・雑草防除基準」に記載のある薬剤による防除をお願いします。

## (3) パン用小麦の2回目の追肥について

現在、パン用小麦「ゆめかおり」は出穂期～穂揃期で、2回目の追肥時期を迎えています。追肥量や追肥の注意点は、前回までの技術情報をご覧ください、適期追肥をお願いします。

注) 一施肥二鳥や追肥一発肥料を使用した圃場は2回目の追肥は不要です。

# 4 水稻の育苗・本田初期の管理

## (1) 育苗管理と本田初期の水管理の徹底

- 4月の著しい高温により、予想より苗の生育が進んだため、田植え作業も早まっています。  
活着は良好ですが、連休前半が低温傾向だったため、この期間に移植された圃場では活着がやや遅れると思われます。
- 移植後は3～4cmのやや深水管理として、強風や低温による植えいたみを防ぎ、新根が出て活着したら、2～3cmの浅水管理とするなど、移植後の水管理には細心の注意をはらい、活着促進のため水管理の徹底をお願いします。
- これから田植え作業のピークを迎えますが、育苗ハウス内は高温となりやすい時期です。引き続きハウス内の換気を十分行うようにお願いします。

## (2) 除草剤の処理について

- ジャンボ剤や250g剤（豆つぶ剤）などの少量自己拡散型の除草剤が使用されることが多くなってきました。このような除草剤を使用する場合は、水深を8～10cm程度に深くしてから除草剤を処理することが、効果を高めるポイントになりますので、処理時の水深には気をくばるようご指導をお願いします。
- 水管理が不十分で雑草が残ったり、再発生する場合があります。特にヒエやホタルイは葉令が進んでから気づく場合が多いです。このため除草剤処理から7日後位には、圃場状況を必ず確認するようにお願いします。残草状況によっては、中期剤の対応をお願いします。

## (3) 農薬誤用防止と除草剤処理後の水管理の徹底について

- 毎年、苗箱施薬剤と除草剤を取り違える事例が発生しています。誤用防止や、除草剤散布時期の確認について、十分な注意喚起をお願いします。
- 水管理の不徹底（水口の閉め忘れ等）により、畦から田面水がオーバーフローするなどのトラブルが報告されています。水管理の徹底については、十分な注意喚起をお願いします。